

1 単元名 場面に応じて話そう ～自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する～

単元で付けたい力

- ・情報の信頼性の確かめ方を理解して使う力。〔知識及び技能〕(2)イ
- ・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力。
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ウ
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度。 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元について

○教材観

本教材では、「小学生に体験学習をPRする」、「体験時にお世話になった方々に報告や提案をする」、「体験を通して考えたことを面接で述べる」という三つの場面でのスピーチが想定されている。相手や場面、話の内容によって言葉や話し方などを工夫しながら相手に自分の考えを分かりやすく伝えるためには、どのように話す必要があるかを考えることができる教材である。本学年では、より生徒が主体的に取り組めるよう、条件スピーチの課題を「今、自分が一番伝えたいことについて述べる」とすることで、自分が主張したいことをもとに題材を集め、相手や目的に応じて、伝えるべき内容を精査したり、よりふさわしい言葉や話し方を考えたりすることができる。

話すことは、書くこと以上に具体的な場面を想定することが不可欠である。これまでの学習でも「目的や場面に応じて話す力」の学習はしてきているが、何をどのように話すべきかという話の内容や、そこで用いられる表現は、話す相手や目的、話す場の状況によって異なるため、本教材において、より具体的な場面や状況を想定してスピーチすることができる。また、自身の主張をより明確にさせるためにも情報を収集し、その情報の信頼性を確かめ、集めた情報を効果的に組み立てる力、そして相手の反応を見ながら、場の状況に合わせた話し方ができる力を身につけさせることができる教材である。

○生徒観

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校採点において、本学年の生徒に見られた課題は、大問1二、第2学年「話すこと・聞くこと」A(1)ウ、大問2一、第2学年「読むこと」C(1)ウであった。大問1二は、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかを見る問題が取り扱われている。普段の授業では、場面の設定を行うことで、目的意識をもって意欲的に取り組み、ある一定のレベルでのスピーチも行える学年と言える。しかし、出題の意図である、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題が見られた。これは、本設問のような、複数の生徒のやり取りの内容と資料等を一致させて考える問題をほとんど経験したことがなかったためと考えられる。

大問2一では、文章と図を結び付けて内容を解釈するという点に課題が見られた。さまざまな葉が書かれた

図が、本文において重要な役割をすることは理解できているが、実際の葉を思い浮かべたり、実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けたりする際に助ける役割をもつことが理解できていないなど、主張と例示の関係を捉えることにつまずきがあったと予想される。つまり両問題から、文章の解釈とそれに関わる情報と情報との関係について理解することに弱さがあることが分かる。

本学級の生徒は、積極的に取り組める生徒が多く、グループで話し合ったり、意見交換をしたりするなどの活動に前向きであるが、多角的に物事を捉える力が弱い。そこで、グループ等で意見交流したことを生かして推敲し、よりよいスピーチをすること、またそれを互いに聞き合い、より良いものにするための話し合いを行うことで考えを広げ、多角的に考えることができるようになるのではないかとと思われる。

○指導観

令和6年度全国学力・学習状況調査で見られた課題から、資料を用いて自分の考えを伝えること、文章と図を結び付けて解釈する力、必要な情報に着目して読みとる力が必要であると考えられる。そこで、情報と情報の関係に着目し、分かりやすく伝わるように表現を工夫するなどの力を育成するために、本単元の学習課題を「提案や主張など自分の考えを話し、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする」と設定した。本単元では、「今、自分が一番伝えたいこと」について必要な情報を集め、スピーチするためのメモを考えさせた後、実際にスピーチを行う。その後、グループで評価し合うことで、場の状況に応じて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することや、相手が納得できるような情報の選び方、話の構成などを考えさせたい。また、自分の主張の根拠とするために複数の情報を集める必要があること、また、その情報の信頼性を確かめるために大切なことを押さえさせ、集めた情報を的確に整理、吟味し選択させることの重要性にも気づかせたい。そして、スピーチを行う際には、自分が伝えたいことを明確に伝えるために、聞き手の反応に応じて質問や問いかけを入れるなど、活動を通して、聞き手となるグループ、学級の人たちに、自分の考えが効果的に伝わるように表現を工夫させたい。

3 単元の目標

- (1)情報の信頼性の確かめ方を理解して使うことができる。[知識及び技能](2)イ
- (2)場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。[思考力・判断力・表現力等]A(1)ウ
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報の信頼性の確かめ方を理解して使っている。【(2)イ】	①「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【A(1)ウ】	①場面に応じた話の内容や構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって、自分の考えを分かりやすく伝えようとスピーチしている。

5 指導と評価の計画

時数	○指導のねらい(目標) ・学習内容、学習活動	評価	
		評価規準 学習過程	評価方法
1	<p>○スピーチに大切なことは何かを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付きたい力の確認。 ・単元の流れの確認。(教科書) ・単元のゴールとゴールイメージの共有。 ・本時の目標と流れの確認。 ・スピーチについての確認。 ・スピーチモデルの提示。(複数提示) ・スピーチに必要な要素を考えさせ、全体で共有する。 ・本時の振り返り。(ロイロノート) 		
2	<p>○場の状況に応じて、自分の主張を分かりやすく伝えるためにはどのような工夫が必要か考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標と流れの確認。 ・自分の主張のテーマを決める。 ・自分の主張の根拠となる情報を収集する。 ・収集した情報を吟味、整理する。 ・話す内容や構成を考え、スピーチメモを作成する。 	<p>【知識・技能】① ここでは、情報の信頼性の確かめ方を正しく理解し、使っているか確認する。</p> <p>話題の設定・情報の収集・内容の検討</p>	<p>観察 振り返り ロイロノート (シンキングツール)</p>
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをもとにスピーチ練習を行い評価し合う。(スピーチはタブレット撮影し、「自己評価」を提出する) 	<p>【思考・判断・表現】① ここでは、場の状況に応じた言葉や自分の考えが分かりやすく伝わるような工夫ができていないか確認する。</p>	<p>スピーチメモ スプレッドシート 振り返り</p>
4	<p>※修正した箇所やそのように修正した意図や理由も合わせて提出させる。(スプレッドシート)</p> <p>(評価観点:情報の信頼性、表現の工夫、構成)</p> <p>※3時間目終了時には中間評価としてスピーチ動画を一旦全員が提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互評価をもとに、修正を行う。 ・本時の振り返り。(ロイロノート) 	<p>構成の検討・考えの形成</p> <p>表現・共有</p>	
5	<p>○単元の学びを今後生かすための分かりやすい主張の伝え方には、どのような工夫が必要だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標と流れの確認。 ・スピーチをする。(班で撮影を行う) 	<p>【主体的に学習に取り組む態度】① ここでは、場面に応じた話の内容や構成を考えることに粘り強く取り組んでいるか確認する。</p>	<p>観察 振り返り</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを評価し合う。 (スプレッドシートにコメントを入れる) ・これからの生活に活かしていきたいことをまとめる。 ・単元末の振り返り。 		
--	---	--	--

6 本単元における、学校として付けさせたい資質・能力とその手立て

選んだ3つの資質・能力「 考えを表現する力 」
<p>具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今、自分が一番伝えたいこと」について述べる。

7 本時の指導(3/5時間)

(1) 本時の目標

- ・情報の信頼性の確かめ方を理解して使うことができる。[知識及び技能](2)イ
- ・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。[思考力・判断力・表現力等]A(1)ウ

(2) 本時の評価規準

- ・情報の信頼性の確かめ方を理解して使っている。[知識及び技能](2)イ
- ・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。[思考力・判断力・表現力等]A(1)ウ

(3) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 ☆Cの生徒への手立て	評価規準・評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りと単元の流れの確認をする。 ・本時の目標と流れの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 場の状況に応じて、自分の主張を分かりやすく伝えるためにはどのような工夫が必要か考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を確認するとともに学習の見通しをもたせる。 <p>☆クラウド上に、ヒントボックスを用意する。(既習事項やスピーチモデルの動画等)</p>	

<p>展 開</p>	<p>・自分の主張の根拠となる情報を収集する。</p> <p>・収集した情報を吟味、整理する。</p> <p>・話す内容や構成を考え、スピーチメモを作成する。 (思考ツールは生徒に選択させる。)</p> <p>・メモをもとにスピーチ練習を行い評価し合う。 (スピーチはタブレット撮影し、「自己評価」を提出する。) ※修正した箇所、そのように修正した意図や理由も合わせて提出する。 (スプレッドシート) ※3時間目終了時には中間評価としてスピーチ動画を一旦全員が提出する。</p>	<p>・情報を複数調べさせる。また、情報の信頼性について、学んだことをもとに確かめさせる。</p> <p>☆情報の整理ができていない生徒、構成で止まっている生徒には、伝えたいことの再確認をさせる。</p> <p>☆撮影まで早く終わってしまっている生徒には、さらに吟味をさせる。</p> <p>☆情報の信頼性の確かめ方を提示する。</p> <p>・情報の信頼性、構成、表現の工夫について、再度ポイントを確認させる。</p> <p>・思考ツールは生徒に選択させる。</p> <p>・スピーチの様子をタブレットで撮影し、提出させる。</p> <p>※一度撮影をしてから、本当に伝えたいことが伝わるように表現等が工夫されているか、自己評価をする。提出までは、繰り返し、確認、ブラッシュアップを行うよう意識させる。</p>	<p>【知識・技能①】 評価シート ロイロノート</p> <p>・ここでは、情報の信頼性の確かめ方を正しく理解し、使っているか確認する。</p> <p>【思考・判断・表現等①】 スピーチメモ スプレッドシート ロイロノート</p> <p>・ここでは、場の状況に応じた言葉を選んでいるか、伝わりやすい表現の工夫ができているか確認する。また友だちの助言を自分のスピーチに活かしているか確認する。</p>
----------------	---	--	---

終 末	<p>・本時の振り返り。</p>	<p>・説得力がある根拠にするためには、情報の信頼性を確かめることが大切。</p> <p>・聞き手の反応を想定して、場に状況に応じた表現の工夫が必要。</p> <p>などについて確認する。</p> <p>☆スピーチ練習で得た、新たな発見とは何かを考えさせる。</p>	
<p>【振り返りの例】</p> <p>・信頼性の高い情報は、発信元や情報が出た時期などをきちんと確かめる必要があると分かった。だから、一つの情報だけに頼るのではなく、複数の情報からより信頼性の高いものを選びたい。(2時間目)</p> <p>・話すときの視線の方向や、聞き手の反応や表情には注意してスピーチできた。〇〇さんのスピーチを見て、必要なら途中で問いかけたり質問したりしながら分かりやすく伝えることが必要だと気づいた。(3、4時間目)</p>			

<板書計画>

場面に応じて話そう

めあて

場の状況に応じて、自分の主張を分かりやすく伝えるためにはどのような工夫が必要か考えよう。

スピーチに必要なこと

○ ○ ○

一時間目にもとめた内容を掲示する。

スピーチをするために

ヒントボックス

- ・スピーチモデル動画
- ・一時間目からのまとめ
- ・気になる！？ニュース

Classroom

みんなのスピーチ

まとめ

自分の主張を分かりやすく伝えるためには…

①説得力

←

主張の根拠

- ・信頼性の高い情報を複数集める。
- ・集めた情報を吟味する。

②聞き手の反応を想定した表現の工夫